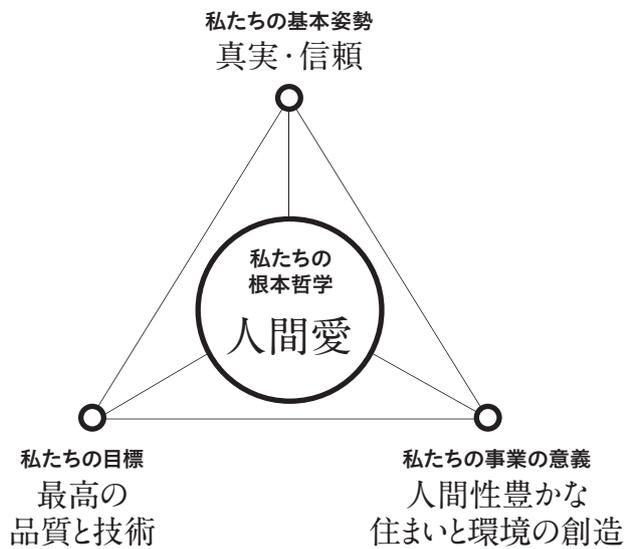


理念と価値創造の歩み

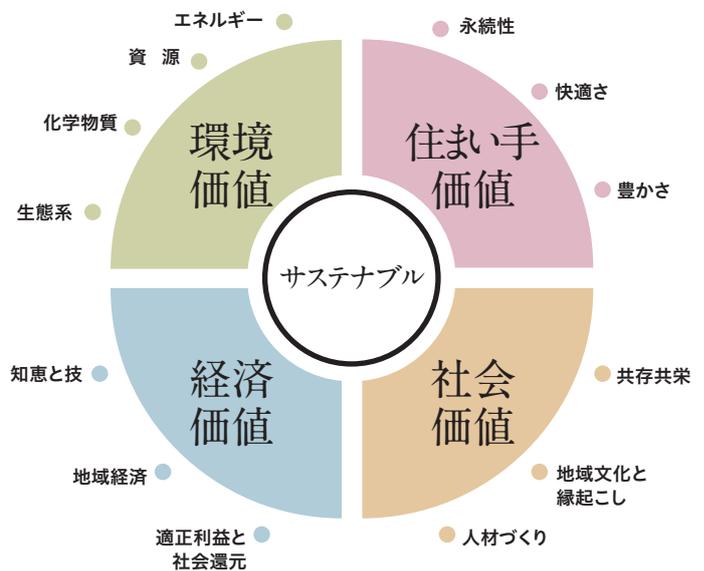
住まいから「4つの価値」を創造する

企業理念を礎に、社会の変化やニーズに即応し、住まいを通じて価値を創造・提供してきた積水ハウスグループ。2005年には、目指すべき「持続可能な社会」をビジョンとして定義し、これを実現・検証するため「環境」「経済」「社会」「住まい手」という「4つの価値」によるバランスのとれた経営を目指すことを宣言。その後も社会動向やニーズに対応する新商品・新技術開発を加速させ、「4つの価値」を向上させてきました。これからも共有価値の創造を実践することで、持続可能な発展を目指します。

企業理念



「4つの価値」に基づく「13の指針」



「人間は夫々かけがえのない貴重な存在である」という認識の下に、相手の幸せを願い、その喜びを我が喜びとする奉仕の心を以って何事も誠実に実践する事である」という「人間愛」を根本哲学としています。全従業員での討議を経て、1989年に制定しました。

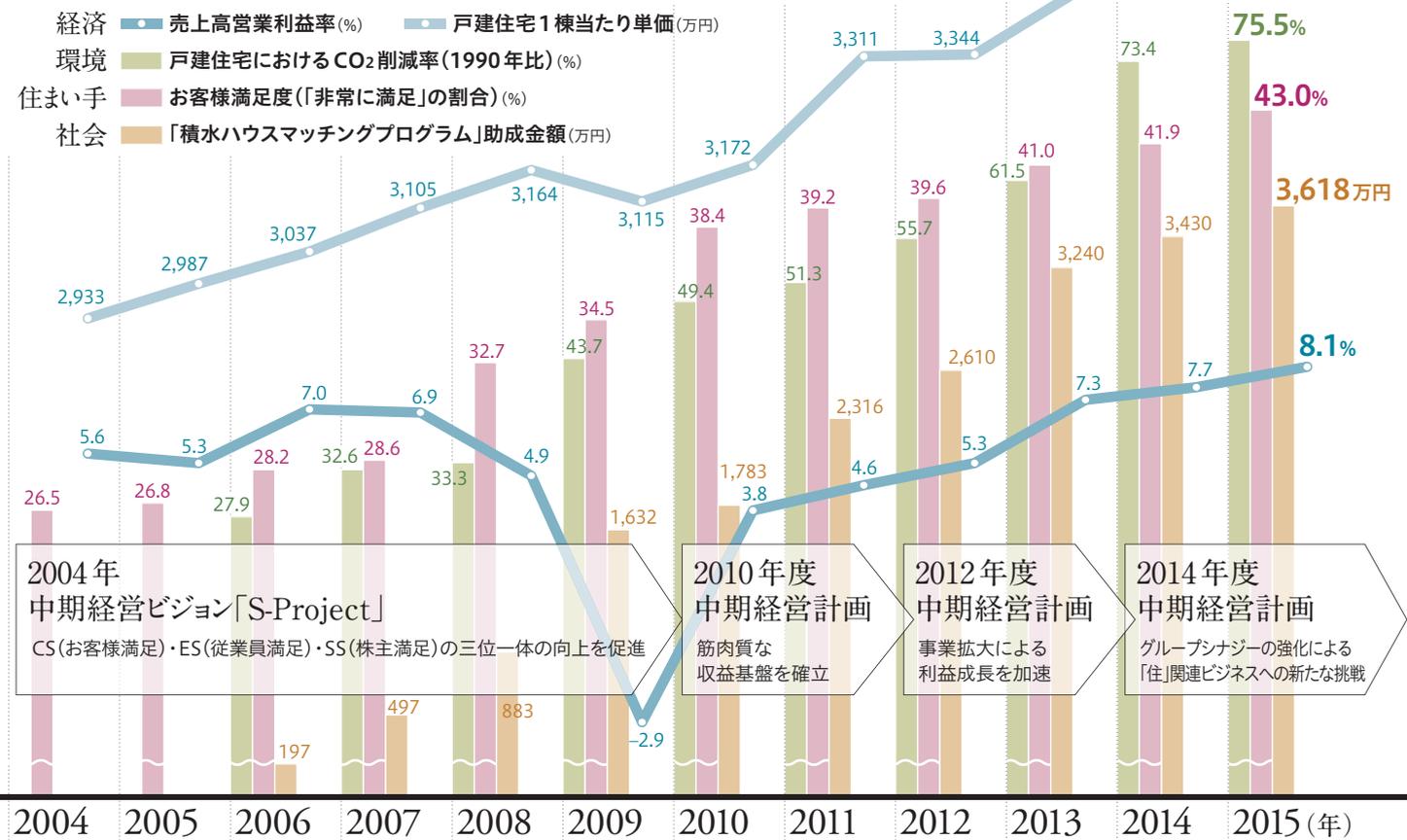
2005年、「持続可能性」を経営の基軸に据え、「4つの価値」によるバランスのとれた経営を目指す「サステナブル・ビジョン」を発表。その行動指針となる「4つの価値」に基づく「13の指針」を2006年に策定しました。

	1960+70年代	1980年代	1990年代	2000年代
積水ハウスの取り組み	<p>1960 積水ハウス創立</p> <p>1979 住宅業界初の実大振動実験</p> 	<p>1981 日本初の「障がい者モデルハウス」建設</p> <p>1982 自然エネルギーを活用した「PSH-21(パッシブソーラーハウス)」発売</p> <p>1989 「企業理念」制定</p>	<p>1996 住宅業界で初めて高性能遮熱断熱複層ガラスを標準採用した「セントレージΣ」発売</p> <p>1997 太陽光発電システムを標準装備した「ソーラーΣ・A」発売</p> <p>1999 「環境未来計画」発表</p>	 <p>2001 「5本の樹」計画開始 シックハウス対策として内装仕上げ材を Fc0・E0 仕様に統一</p> <p>2002 全6工場ゼロエミッション達成 全戸建住宅において「防犯仕様」を標準化</p> <p>2003 全戸建住宅において「次世代省エネルギー仕様」を標準化</p>
社会動向など	<p>日本の高度成長期 オイルショック</p>	<p>1981 新耐震設計基準施行</p> <p>1985 オゾン層保護のためのウィーン条約採択</p>	<p>1992 ブラジルで地球サミット開催</p> <p>1993 環境基本法公布・施行</p> <p>1995 阪神・淡路大震災</p>	<p>2000 住宅の品質確保の促進等に関する法律(品確法)施行 循環型社会形成推進基本法公布・施行</p> <p>2002 関係閣僚会議で「新・生物多様性国家戦略」決定 建設リサイクル法全面施行</p>

積水ハウスの歩み



積水ハウスグループが創造してきた共有価値



2004年 中期経営ビジョン「S-Project」
CS(お客様満足)・ES(従業員満足)・SS(株主満足)の三位一体の向上を促進

2010年度 中期経営計画
筋肉質な収益基盤を確立

2012年度 中期経営計画
事業拡大による利益成長を加速

2014年度 中期経営計画
グループシナジーの強化による「住」関連ビジネスへの新たな挑戦

2004 「住宅防災」の総合的取り組みを開始
「省エネ・防災住宅」発売

2005 「サステナブル・ビジョン」発表
「まちづくり憲章」制定

2007 制震システム「シーカス」発売
「木材調達ガイドライン」制定

2008 「エコ・ファーストの約束」
「ゼロエミッションハウス」建設協力

2009 環境配慮型住宅「グリーンファースト」発売

2010 創立50周年
累積建築戸数200万戸達成

2011 「グリーンファーストハイブリッド」発売
空気環境配慮仕様「エアキス」発売

2013 エネルギー収支ゼロとなる「グリーンファーストゼロ」発売

2014 「防災未来工場化計画」開始

2004 新潟県中越地震発生

2005 京都議定書発効

2006 住生活基本法施行

2007 新潟県中越沖地震発生

2008 リーマンショックによる世界的金融危機発生
北海道洞爺湖サミット開催

2009 長期優良住宅認定制度開始

2010 生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)開催

2011 東日本大震災

2015 第3回国連防災世界会議開催
気候変動枠組条約第21回締約国会議(COP21)開催